

Mマガジン・サポーター (店舗情報の詳細は「音楽好きな友の会」公式サイトにてご確認ください)

●公共機関

- ・区役所
・会館
・会館
・会館
・郵便局
・郵便局
・郵便局
・郵便局
・放送局
・音楽教室
・ワインバー
・カラオケスナック
・花屋
・鉄板焼
・ヘアサロン
・カフェ
・果物
・パン
・コーヒー専門
・イタリア料理
・音楽教室
・音楽教室
・コインランドリー
・理容室
・接骨院
・ヘアサロン
・デザイン制作
・カフェ
・時計・貴金属

●元住吉西口(ブレイメン通り/井田中ノ町商店街通り)

- ・介護センター
・お茶
・鍼灸院
・cafe+cake
・ファーストフード
・介護センター
・古本・CD
・整骨院
・調剤薬局
・飲み喰い処
・イタリア料理
・STEAK
・不動産
・流す珈琲屋
・Gステーション

●元住吉近郊

- ・喫茶室
●武蔵小杉近郊
・紅茶専門店・喫茶室
・蕎麦店
・珈琲店
・喫茶店
・喫茶店
●東横線沿線
・調剤薬局
・写真
・レストラン&バー
・調剤薬局
・カフェレストラン
・ジャズ喫茶

- 中原区役所5Fなかはらっば 中原区小杉町3-245 Tel.044-744-3113
川崎市国際交流センター 中原区木月祇園町2-2 Tel.044-435-7000
川崎市生涯学習プラザ 中原区今井南町28-41 Tel.044-733-5560
かわさき市民活動センター 中原区新丸子東3-1100-12 Tel.044-430-5566
川崎井田郵便局 中原区井田中ノ町25-1 Tel.044-766-9724
川崎ブレイメン通郵便局 中原区木月1-31-5 Tel.044-455-1800
川崎木月郵便局 中原区木月住吉町11-12 Tel.044-411-9800
川崎木月大町郵便局 中原区木月大町11-17 Tel.044-722-3617
かわさきFM 中原区小杉町1-403 武蔵小杉タワープレイスTel.044-712-1791
SouleaveMusic School 中原区木月伊勢町10-1三起ビル302 Tel.044-750-8992
24 Wine&Coffee Stand 中原区今井南町37-13-101 Tel.044-573-3437
ROCOO 中原区今井南町37-13-102 Tel.044-733-7777
Bianca 中原区木月1-26-19 Tel.044-422-7015
ゆうさ亭 中原区木月1-28-16 Tel.044-434-6999
キャメルヘアデザイン 中原区木月1-32-10 中嶋ビル1F Tel.044-872-7375
水谷珈琲 中原区木月1-32-16 1F Tel.044-577-4288
フルッチョ 中原区木月1-35-1 Tel.044-433-3338
リップル 中原区木月3-10-20 Tel.044-863-6554
MUI (旧もとえ珈琲) 中原区木月3-13-2 Tel.044-767-1368
オステリア ボッカーノ 中原区木月3-17-16 新井ビルB1F Tel.044-411-1003
島倉 学ミュージックスクール 中原区木月3-35-1ART FLATS B1F Tel.044-567-5490
有機堂日吉ミュージック・センター 中原区木月4-31-7 Tel.044-411-5701
マンマチャオ元住吉店 中原区井田中ノ町4-1 メゾンアッシュTel.0120-027-217
Hair Salon Airs 中原区井田中ノ町5-3 関根ビル1F Tel.044-755-0273
井田名倉堂・栗山接骨院 中原区井田中ノ町6-27 Tel.044-766-0850
波照間 中原区井田中ノ町8-1 Tel.044-797-5692
アルケファクトリー 中原区井田中ノ町8-43 Tel.090-4362-5413
フレストコーヒー 中原区井田中ノ町33-1 Tel.044-754-1156
つどとけいてん 中原区井田中ノ町33-2 Tel.044-766-6022

- みずたま介護ステーション元住吉 中原区木月2-2-3 メゾンミール元住吉 Tel.044-430-6963
金子園 中原区木月2-2-36 Tel.044-411-5877
和式整体&整心の「響氣」 中原区木月2-3-35 住吉名店センター401 Tel.044-433-2880
Baloo(バルー) 中原区木月2-7-8 健庄ビル1F Tel.044-789-9625
モスバーガー元住吉店 中原区木月2-10-2 Tel.044-411-5979
ツツイ 中原区木月2-8-5MKビル1-B Tel.044-431-0027
凸と凹と 中原区木月2-10-3
オズ整骨院 中原区木月2-11-12 Tel.044-740-9100
綱島街道薬局 中原区木月2-16-10 Tel.044-750-0374
粋い仙ん 中原区木月2-20-47 Tel.044-411-8980
自在屋 中原区木月4-10-6 Tel.044-433-5644
ステーキグラム元住吉店 中原区木月住吉町7-7 Tel.044-433-4129
福街不動産 中原区木月祇園町12-1 Tel.044-750-0409
cafe OrangeBlue 中原区木月住吉町7-48-101
ENEOSダイヤ商事 中原区木月住吉町21-1 Tel.044-411-5863

シンフォニー 川崎市幸区矢上11-1 Tel.044-599-3499

- Tea House ローズマリー 中原区小杉町3-70-4 ホーユパレス1F Tel.044-733-1076
そば あさひや 中原区小杉御殿町2-42-7 Tel.044-722-1768
Cafe TEMO(テモ) 中原区上小田中6-1-5 Tel.044-755-8234
Coffee Spot Life(ライフ) 中原区上小田中6-22-13 Tel.044-722-0024
ジョップ カフェハット 中原区新城1-16-12 Tel.044-788-0116

- 駒沢通り薬局 東京都目黒区中央町2-40-8 Tel.03-6412-7318
PHOTO SHOP 銀嶺 東京都港区六本木7-8-4 Tel.03-3408-5406
Public House びあにしも 川崎区小川町16-15ヒロサワビル103号Tel. 044-201-1668
オレンジ薬局川和町店 横浜市都筑区川和町1218-1F Tel.045-929-1005
カンファ-ツリー 横浜市中区海岸通1-1横浜貿易協会ビルTel.045-211-2200
マシュマロ 横浜市中区山下町214 巴里堂ビル2F Tel.090-2202-3294

※上記サポーター記載は無料です。

M
MAGAZINE

発行人 塚田親一 発行 音楽好きな友の会 川崎市中區区木月2-21-32 TEL 090-9398-2889

2020-5-16-800 Printmagik



●Motosumiyoshi●Music●Mate●Me

音友レコード倶楽部

Light Musc
「軽音楽ファンの集い」

Jazz Date
「ジャズファンの集い」

新型コロナウイルスの
感染拡大予防として
6月の集いは中止と決定

6月18日(木)12:10~
ランチタイム・
ロビーコンサート
坂下夏淑・岡部綾子
ヴァイオリン
川崎生涯学習プラザ

川崎市生涯学習プラザ 1階ロビー

第89回ランチタイム・ロビーコンサート

どなたでも気軽に音楽を楽しめるアットホームなコンサート
●日時:6月18日(木) 12:00開場/12:10開演/12:40終演予定
●料金:無料 ●出演:坂下夏淑・岡部綾子/ヴァイオリン

●プロフィール:
★岡部綾子(おかべあやこ)
★坂下夏淑(さかしたかよ)
学、同大学院を卒業後、渡
独。ドイツ国立ヴュルツブル
ク音楽大学を卒業、Diplom
を取得。東京藝術大学履修
生修了。現在は演奏活動を行
う傍ら後進の指導にあたる。
★坂下夏淑(さかしたかよ)
/ヴァイオリン:桐朋学園大



●お問い合わせ
(公財)川崎市生涯学習財団
総務室 総務係
ロビーコンサート担当
TEL 044-733-5560
E-mail:concert@kpal.or.jp
川崎市中區区今井南町28-41
●曲目予定:
○ルクレール/
二台ヴァイオリンのためのソナタ 第5番 希短調
○モーツァルト/
夜の女王のアリア オペラ魔笛より
○ドヴォルジャーク/ユモレスク
○ロッシーニ/ウイリアムテル序曲

MIMF 「元住吉ミュージック・フェスティバル」を開催する
「音楽好きな友の会」と「motton club」とは

東急東横線、元住吉駅の商店街で、
「レコードを聴きながらお酒を、焼きそばを」と言う店がありました。そこに集う音楽好きの人々はノンジャンルの方々で、共通なのは昔の真空管が再生してくれる「アナログ・サウンド」の柔らかい音楽を聴こうと言うことでした。ところが残念な事がある日、閉店になってしまいました。
そのお店の常連客の中から「自分たちでレコードが聴ける場所を作れば良いのでは!」と、音楽鑑賞趣味の会を発足、名付けて「音楽好きな友の会」通称「音友会」が誕生したのです。
会合を持つにつれ「たまにはレコードで聴いている音楽を、生楽器の演奏で聴きたいね」と欲が出てまいりました。そして、「元住吉の気軽な音楽会」をテーマにしてライブ演奏会を始めました。街の喫茶店や商店街の路上では、「街角投げ銭ライブ」とサブテーマを設けたりしています。実は本当にありたい事に、それらの多くの出演者の方々は「音友会」が非営利の趣味の会として認めていただけにボランティア演奏で参加していただきました。
長い間レコード鑑賞会やライブを続けていると元住吉には「川崎市国際交流センターの大ホールがある!」「川崎唯一の野外音楽堂がある!」と言う事で元住吉と言う土地柄はランドマークとなる音楽開催施設もあって、音楽の発信が出来るのではないかと2019年4月に音友会のは5周年も相まって「元住吉ミュージック・フェスティバル」を企画するに至りました。
第1回の出演の方たちは「音友会」の知人やその友人と言った皆様にお願ひしました。256席と言う大きな川崎国際交流センターの大ホールをお客様で埋められるか。そういう難題にも直面しました。出来るだけ地元音楽好きな方たちに来ていただきたいと入場無料とし、地元町内会や商店

会に協力を仰ぎ、なんとか160名という観客動員に成功しました。結果は自分達も演者の皆さんも驚きました。やってよかったな。アンケートでも圧倒的に定期公演を望まれました。
一方、参加の演者の中から、自分たちで積極的に演奏の場を創る、あるいは演奏家だけでなく音楽を通して関わるスタッフ達が情報交換をしたり、一緒になってライブ演奏の場を創って行こうと姉妹組織「motton club」も誕生しました。できれば全国のミュージシャンをウェブサイトを利用してネットワークし、それを利用して各々が情報発信できればすばらしい。そんな大きな夢もあります。
これらの組織が地域の様々な団体、音楽好きな市民の協力を得て発展して行けるよう私たちは努力して行きたいと思ひます。また、これらの組織は誰もが参加できます。ぜひ、一緒に音楽を楽しむ暮らしを充実させて行きませんか。
第2回元住吉ミュージック・フェスティバル実行委員会
音楽好きな友の会代表 塚田 親一

連載09 そして音楽の旅は続く

この頃から、レコードを制作者側の気持ちで聴く耳も培われたように思ひます。

1976年春、ヤマハ音楽振興会の特待生に選ばれて、合歓の郷へ行きました。小倉駅から名古屋、名古屋から合歓の郷の最寄り駅「賢鳥(かしこじま)」駅から合歓の郷へは車で。峠道の新緑を眺めながら「これからはいばん好きな事だけを考えて過ごせるんだなあ」と澄んだ空気を胸いっぱい吸い込むと、何とも言えない穏やかな気持ちになりました。到着した合歓の郷は、見渡す限り美しい風景でした。現在は経営が変わり一般のリゾート施設になっていますが、当時はヤマハが経営する「ミュージックキャンパス合歓の郷」の名の通り、音楽のためだけの夢のような場所。広大な敷地にはホテル、レコーディングスタジオ、ホール、ライブスペース、資料室、芝生にゆったりと点在するコテージ風の練習スタジオ、キャンパスホテルという合宿所、アーチェリー等のアクティビティもあり敷地内はカートで移動しました。大きな野外ステージでは、ポップコンの第6回目までが開催され、またジャズの巨匠達によ

るフェスも開催されていました。私はキャンパスホテルの4人部屋を一人で使う事になり、着替えだけを詰めた小さなバッグをベッドの上にポンと置いて腰掛けました。所持金は僅か、身体ひとつで来たことへの不安は一切無く、窓からの景色があまりにも美しい別世界なので、新しく生まれ変わったみたいな感覚でした。ホテルの部屋は清潔・簡素な造りで豪華な雰囲気はありませんが、建物内にはピアノスペースがたくさんあり、24時間いつでもピアノを弾くことができました。お部屋にはキッチンが無いので食事は全てホテルのレストランで提供され、いつでも食べ放題でした。また、私が何かレッスンを希望するならば先生を付けてくれる...最高の環境と待遇でした。そこで私は基本からと思ひ、早々に楽典の先生を手配してもらいましたが苦手でした。歌のレッスンもお願いしたけど「身体で唄う」との教育方針らしく、踊りながら唄うのはちよっと...どちらも直ぐに辞めてしまいました。この時に勉強してお

けば良かったなあ。私の合歓での待ちはとても恵まれたほうですが、他にも各支店や制作室にも勉強中アーティストがいて、時間をかけて開花した人もいました(先方の了解なしにアーティスト名を出せないのので、ごめんなさい)。さて合歓の郷の説明ばかりになってしまいましたが、お伝えしたかったのはヤマハを含め、当時の音楽業界には余力と活気があったのでアーティストを育てていた時代だったという事です。そしていつか未完成でも、明日を楽しみに思えるアーティストがたくさんいたんです。いいよね!



Kei Hoshino
2005年12月14日、ジャズシンガーとして待望のリーダーアルバム「NEARNESS OF YOU/星乃けい」、2006年12月20日「IN A SENTIMENTAL MOOD/星乃けい」をリリース。ジャズファン、ジャズメン、オーディオファンから高く評価支持される

「音友レコード倶楽部」

※コロナ感染拡大対策のため、暫くお休みをさせていただきます。今後の詳細は、ontomo.jpのホームページで確認をお願いします。軽音楽ファンの集い「Light Music」&ジャズファンの集い「Jazz Date」を月に2回開催。



ジェットストリームの様な軽音楽好き、またジャズレコードコレクターなどジャズファン好きが月に2回集まって昔のサウンドを楽しんでいます。SP、LP、EPやCDなどを持ち寄り、好みの集いに参加して懐かしいあの頃のレコードを聞きながら音楽談義をしています。ぜひ一度参加してみてください。(※SP盤持参の場合は事前にご連絡ください)
・時間:2時30分開会~5時30分閉会(2時間開場)
・場所:「Soul Eggs/ソウル エッグス」tel.044-982-9972
川崎市中區区 木月3-6-18 元住吉 コアビル2階
・アクセス:元住吉駅/徒歩4分ブレイメン通り(牛井松屋2階)
●レコード倶楽部コンサートの問い合わせ
※「非通知設定」には対応不可。ontomo.jp 検索
090-9398-2889 (担当:塚田)
音楽好きな友の会
http://ontomo.jp/

島倉 学ミュージックスクール

驚くほど歌い方が上達する
「島倉 学メソッド」
歌が人生を変える
音楽は決して貴方を裏切らない

島倉 学ミュージックスクール

プロ志望専門ヴォイス・トレーニング
30分無料体験レッスン実施中!
【レッスンスタジオ】元住吉西口 徒歩5分
島倉音楽スタジオ
〒211-0025 神奈川県川崎市中原区木月3-35-1 ART FLATS B1F(106号)
【お問い合わせ】
島倉音楽事務所
代表 島倉 学 宛
営業日:日曜~土曜 12:00~21:00
定休日:日曜・月曜
TEL 044-567-5940
Mail: info@ms-musicschool.com
HP: http://www.ms-musicschool.com/

ロックやジャズが迷う子羊を導いてくれた。 神山昇



▲Wheels of Fire / Cream ジャケットのデザイナーは不明だがサイケデリックを代表する様なイラスト。

ある日、原宿の友人宅で寝ていたら、その友人が若くてガタイの良い金髪のアメリカ人を連れて帰って来た。「米軍から脱走したんだって」。ベトナム戦争がたけなわを迎える時期だった。片言の英語で連れて来た友人も友人だけど、おかげでその脱走兵からブルースロックとサイケデリック・ロックの融合と言われたハードロックの源流とか「世界の音楽事情」を誰よりも早く聞くことが出来たんです。金髪から「今、俺たちが一目を置くパ

ンドは「クリーム」だ」と言われ、昼すぎには横須賀のレコード店に飛んで行きました。「クリーム」としか聴いていないからショートケーキの様な可愛らしいジャケットを一生懸命に探しました…。そのジャケットには驚きました。カバーが「紙」ではなく「アルミホイル」に黒のプリント。つまり印刷の常識を破っていたんです。常識や、通例と言った俗世にこだわらない事がデザインの核であると再確認できました。『クリームの素晴らしい世界』、イギリスのロックバンド、『クリーム』による1968年の2枚組アルバムです。ビートルズで芽生えた新しいロックは、エルヴィス・プレスリーのようなキング・オブ・ロックンローラーしか知らなかった私の世界を一気に広げてくれました。そして、これは歌より演奏に重きを置いた「聞かせるロック」でした。1曲目「ホワイトルーム」は、私が当時、すっかり傾倒していたフランスのジャンリク・ゴダールという映画監督の「中国女」のシーンに重なりました。中華人民共和国が文化大革命のさなか、その運動が世界の若者に影響を与えていた1967年初夏のパリを描いた

映画です。抽象的な言葉で歌う『クリーム』のクラブトとその映画の言葉を長々と語る映像が融合しました。あげくに自室の壁をペンキで真っ白に塗りました。月に数日しか帰らない息子がどうとう狂ったのかと、親は心配しました。思想的行為ではなく、単なるインテリアデザインでした。天井、窓枠、壁、柱…。BGMはもちろん『クリーム』の素晴らしい世界』をリピートで。その頃友人と会社を作ります。皆、日大闘争等で挫折した青臭い者ばかり。映画、写真、デザインと、各々が大学で学んだ中途半端な専門のスキルを持って仕事を請け負う。若者だけの当時としてはクールな事務所でした。名刺を作るとき、紙でなくとレーザーリングペーパーという半透明の紙を使用しました。そうです、あの『クリーム』のアルミホイル・ジャケットの印刷で得たイメージです。印刷屋さん当初「こんな紙に印刷はできない」と断られました。が、あのレコードジャケットを見せると俄然やる気になりました。さすが職人さん、そのやる気には教えられました。20代のぼくらは新しい会社運営にすっかり有頂天になるのです。(つづく)

特別寄稿 ジャズ喫茶は元気だった!-2



▲1 南里文雄音楽生活48周年記念リサイタル/愛弟子ハナ肇との共演

さて、前回の話の続きに迷っていたが、もうしばらく独り歩きを始めて間もない頃へと繋いでみることにします。まずは、銀座6丁目の「スイング」へ。場所は松坂屋裏手の消防署近くだった。店内はそれほど広くなく、ヴァンガードの中間派アルバムも置いてあり、落ち着いた良い雰囲気だった。銀座にはライブ・ジャズ喫茶があった、昼間からコーヒー一杯で一流のバンド演奏を楽しめた。4丁目交差点の三越裏側三原橋近くの「ニュー美松」で結成間もない白木秀雄クインテットの演奏を聴いたのはラッキーだった。ハナ肇とクレイジー・キャッツも出演していたそう。ハナ肇は昭和23年(1948)南里文雄のホット・ベッツァーズ再編成のメンバーとなり、昭和48年(1973)1月に開催された「南里文雄音楽生活48周年記念リサイタル」で共演。(写真1)ハナ肇は南里文雄の愛弟子であったことを知った。

勤務先が川崎だったある日(昭和32年頃)、職場の先輩二人に「神保町に行かないか」「目的不明?」と誘われた。本屋街を見て「銀座まで歩いてみようか」ということになり、私は思わず「占めた」と。というのはライブ・ジャズ喫茶「テネシー」に行ける絶好のチャンスだったのです。銀座4丁目交差点までたどり着き、あらかじめ「テネシー」の場所を調べておいたので、頃合いを見計らって、何気なく「この店有名なので入ってみませんか?」と。ジャズに関心のない先輩二人は「いいよ、入ってみよう」と云ってくれた。その日は運よく、南里文雄とホット・ベッツァーズの出演だった。オープニング・テーマ「思い出の並木道」(南里文雄 作曲)の演奏が始まるや、ワクワクしたことは忘れられない思い出となった。南里文雄は明治43年(1910)年12月24日大阪生まれで昭和50年(1975)8月4日に亡くなった。南里文雄の最後のレコーディング・セッションをエリック・レコードが追悼の意を込めて発売したLP「Farewell 南里文雄」(写真2)は、昭和49年(1974)7月2日~15日の録音。南里文雄(tp)、河辺公一(tb)、北村英治(cl)、世良譲(p)、沢田駿吾(g)、原田政長(b)、ジミー・竹内(ds)というメンバーによる中間派的セッションだ。

昭和33年頃だったが、「スイング

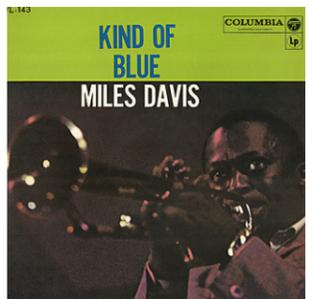
ジャーナル誌」の読者欄を通じて、最初のジャズ・フレンドとなった方とは数寄屋橋フードセンターの「不二家ミュージック・サロン」で待ち合わせ、事前のハガキで「慎太郎刈りをして」と書いてあったのですわかった。ステージはトッポ・ジーゴの声色で話題となった山崎唯(デビューは渡辺晋とシックス・ジョーズ)のピアノ・トリオと下村務(as)のグループだった。帰りに有楽町駅近くの店一杯やりながら飲談。年齢は私より2歳上で、好みはディキシースウィング、住まいは蒲田と教えてくれた。その後、私と同じ川崎市内在住の二人と出会い、20~25才の独身4人組となった。ある日4人揃って銀座7丁目のライブ・ジャズ喫茶「ACB(アィンベ)」に出掛けた。バンド名は思い出せないが、病魔をカムバックした林鉄雄(tp)の素晴らしいプレイを聴いた。(林鉄雄と同年代の代表的トランペッターは福原彰、伏見哲夫、北里典彦) 昭和33年2月8日第1回「日劇 ウェスタン・カーニバル」(平尾昌晃、ミッキー・カーチス、山下敬二郎)でロカビリー・ブームに。「ACB」にもこのブームがなだれ込み、ジャズ・バンドの出演は消えてしまった。



▲2 南里文雄追悼アルバム「Farewell 南里文雄」

川崎 成弘

貼ってある。店主は変わったが、店内は現在も変わっていないようだ。1960年頃の「スイングジャーナル誌」には、「有名ジャズ喫茶ご自慢LP」のページがあり、20店が入荷新譜を紹介していて、「聴きたいレコードはどの店に行けば聴ける」が分かるようになっていた。その中に早々と1959年録音の「Kind Of Blue / Miles Davis」のオリジナル・ステレオ盤(モノラル、ステレオ同時発売の時代だったが)が目止まったが、私はしばらくしてジャケット・デザインが全く異なる日本コロムビア盤で我慢していた。(写真3)



▲3 Kind Of Blue(日本コロムビア盤)

1960年代中頃、私は川崎から数寄屋橋近くに転勤になり、職場のジャズ・ファン数人で「Jazz Collectors Club」を立ち上げたところに仲間入りさせてもらい、年を追うごとに充実したファン・クラブに成長して行く中で、有益な知識を得ることが出来た。ジャズ喫茶や中古レコード店回りも、勤務先からの足の便の良さを利用しながら、仕事も頑張り、家族に迷惑を掛けられない程度にジャズを楽しんできたつもりだ(笑)。

残念なことに、「エポニー」は事情があって平成14年(2002)に閉店となった。時は既に、嘗てのジャズ喫茶は殆んど姿を変え、ジャズ・バーの時代になっていたのであります。(S. Kawasaki 記)

カトマンズの夕暮れ、バンコクの午後、そして、ニューヨークの朝 長谷部 徹

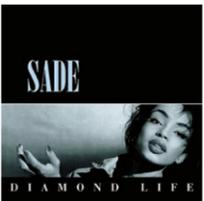
いつもと違う場所では、音楽もいつもと違って聴こえたりしますよね。教会で聴いた讃美歌に心が洗われたり、ピヤガーデンで聴いたハワイアンが妙に心地よかったり。私も旅先で忘れられない音楽との出会いをいくつか経験しました。今回はそんな思い出話です。30代の頃、仕事でよくちよくネパールのカトマンズに滞在していました。バックパッカーがよく沈没する(居心地が良すぎて動けなくなってしまう)街で、人々は穏やかで優しく、旅人向けの安宿やシャレたカフェなどが揃っています。ある時、街中のCDショップやカフェで同じ曲が流れている時がありました。その曲は独特なメロディーに乗せて、「オム・マニ・ペメ・フム」と永遠に繰り返していました。後で調べてみたら、チベット仏教の真言(マントラ)で、それを唱えれば幸せになれるって種類の祈りの言葉なんです。仕事が早めに終わった夕暮れ時、カフェに落ち着いて、何百年も前の建物やオレンジ色に変わゆく高い空を眺めながらその言葉を聴いていると、自分が何処かに連れていかれるような不思議な気持ちになったものです。そのCDを買って帰ってきて、日本で友人に聴かせたら、「何だコレ!」って大笑いされただけでした。誰にでもお勧めできるようなアルバムではないですが、スピリチュアル系に興味や理解がある方は聴いてみてください。3曲で約1時間のアルバムですが、何処か行って、帰ってこれますよ。アルバム名は「TIBETAN INCANTATIONS」(写真1)です。驚いた事に、アマゾンでも売っているし、Youtubeでも聴くことができます。意外と有名なアルバムなのかな? 27歳の頃、日本を抜け出した旅の途中、バンコクのカオサンロードで沈没している時期がありました。まあ、無



▲1 Tibetan Incantations

為な日々を過ごしていたのですが、ある日、知り合ったフランス人に連れられ、ちよと離れたところまで食事に行きました。猥雑な裏道を通り、いくつ角を曲がり、着いた所は水路沿いの屋台街。崩れ落ちそうな屋根の下、何件もの屋台が集合しているような所です。陽に焼けたおばちゃんにチャーハンが何かを作ってもらって食べたのですが、その時そこで流れていたのが、シャデーの「Smooth Operator」「DIAMOND LIFE」(写真2)。その頃のシャデーと言えば、存在そのものが最先端で時代のアイコンだったのですが、そのシャデーとアジアの辺境で食べる安いチャーハンの間にある大きなギャップが今いる自分の状況にハッキリと映し出されていて、とても印象に残る一瞬でした。午後の激しい日差しの中、最先端と辺境を好きなように行き来できる自由を嬉しく思ったのです。最後は21歳の頃の話。当時マンハッタンの76丁目にある友人のアパートに居候をしていました。夜通し乱痴騒ぎをした明け方、理由は忘れましたが、大きなラジカセを持ったままアパートの屋上上がりしました。その朝は珍しく霧が出ていて、そびえ立つ高層ビルはボンヤリと霧の中に霞んでみえました。疲れと眠さから気怠いムードでみんなボーっとしていた時、FMから流れてきたのはジョージ・ベンソン「Moody's Mood」「GIVE ME THE NIGHT」(写真3)。白い朝霧に霞ん

だ摩天楼、冷たい空気に溶けるように流れてきた甘い声、スムーズなギター、時を忘れてしまうような瞬間でした。古い歌だったせいかもしれません。ジョージ・ベンソンの歌声はマンハッタンの積み重なった長い長いエンターテインメントの歴史から、ふと零れ落ちた一滴の音符のように聴こえました。音楽って不思議ですよ。その曲を聴いた瞬間が真空パックされ、その曲を耳にすると、今でもその時の空気感やその時の気持ちが新鮮なまありありと蘇ってくる。カトマンズの埃っぽい空気やバンコクの湿度、ニューヨークでの何も恐れていなかった日々。どれもまるで昨日のこのように感じられます。だからどーしてもわけてはないのですが、自分の中では大切にしたい曲たちです。きつと皆さんにもそんな曲がたくさんあるんじゃないかな?もしできることならば、皆さんの思い出話をじっくり聞きながら、お勧めの曲を聴いてみたいです。いつかそんな時間を持ってみたいですね。



▲2 Diamond Life/Sade



▲3 Give Me the Night/George Benson

連載45 「くじら座」日記

音楽は止まらない 牧野くみ



こんにちは、牧野くみです。4月下旬、緊急事態宣言下の東京より執筆しています。これが皆様の目に触れる頃はどうなっているでしょうか。音楽を取り巻く環境が大きく変わり、「音楽とは何か」というのを改めて考えています。但し仕事や業界の今後に関することは知識も経験もあるたく

さんの方がもう十分に考えて発信しているので、私は何の金銭も生み出さないうけど答えがでたらすっきりしうなことを考えています。目に見えない実態のないものなので何と定義したらいいのかふむふわ考えています。「音楽」とは名詞なので、動詞と合わせると「音楽を奏でる」という使い方がになります。同じような文法で「ピアノを弾く」「歌を歌う」よりもなんだか複合的で大きなイメージになるような気がします。問題提起しておきながら恐縮ですが、実は「音楽の三要素」というものが存在します。メロディー・リズム・ハーモニーの3つです。音楽が生きて人間体だとしたら、メロディーは血の流れのようなもの。リズムは心臓の鼓動の

ようなもの、ハーモニーはバランスを取る自律神経のようなもの、と私は仮説を立てています。そうすると、上記の「ピアノを弾く」「歌を歌う」は「足を動かしてスキップする」「ごはんをたべる」みたいな独立したパートの動きであり、それらをトータルして音楽すなわち「人間が生きている」としてことなかた考えています。人生。だから「音楽を奏でる」と言う3つの条件が揃うと他の名詞と動詞を組み合わせたものよりも社大で楽しくて悲しくて美しいんだと思います。そうか、楽しい音楽も悲しい音楽もそのまま人生に置き換えられるのかもしれない。逆に、人生も音楽に置き換えられるのかもしれない。これから先の人生辛いことがあった時、指揮者になったり観客になったつもりでこれも音楽だと思えば、振り返って笑える日が来るかもしれない。

MOTTON CLUB
地域の、全国のミュージシャン、そして音楽活動に関わるあらゆる人をネットワークしたい。演奏の場を創り、ライブと楽曲の発信を積極的に活動していくのが目的です。元住吉から発信して行きます。アーティスト・メンバー募集中!! <https://mottonclub.com/>



連載25 Course: Addicted to Guitar ギャロッピング奏法に挑戦1 永瀬 晋

お世話になっております。今月もまたギターを始めたばかりの方にお勧めなギター小ネタをソウリーヴ・ミュージック・スクール永瀬がお送りいたします。これまで色々奏法紹介やってきましたが今回は新しくギャロッピング奏法のご紹介をしたいと思います。まずギャロッピング奏法とは何だという話になりますが、カントリー、ロカビリーミュージックで使われる、ベース

パート、リードパートをギター一本で2役こなしてしまうという、ちよと変わった奏法です。名手としては、マール・トラヴィス、チェット・アトキンス、ジェリー・リードなどが有名です。今回はいきなり奏法紹介するには敷居が高いこともありまして、まずはベースラインからご紹介。コードはCのコードを使います。使う弦は4~6弦。右手でブリッジミュート

をかけます。パターンは譜例のようになります。まずはこのパターンを手に馴染ませてみてください!! 少々長丁場のエクササイズになりますが、完成すればかなり面白い効果が得られますのでまずはこのパターンを手に馴染ませてみてください!! というわけでまた次回!

ソウリーヴ・ミュージック・スクール SouleaveMusic School
<http://souleave-music.com/>
元住吉駅徒歩3分・武蔵小杉駅徒歩13分
チケット制 音楽教室 Tel. 044-750-8992 AM8:00/PM2:00start



音友レコード倶楽部 Light Music & Jazz Date お知らせ

「軽音楽ファンの集い」、「ジャズファンの集い」は、新型コロナウイルスの影響により、暫くお休みさせていただきます。今後の詳細は、ontomo.jpのホームページで確認をお願いします。